

教科目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

1学期 主な学習内容（36時間）	2学期 主な学習内容（45時間）	3学期 主な学習内容（24時間）
【体育分野】 1 体づくり運動 2 器械運動（跳び箱運動） 3 球技（ゴール型） 4 水泳 【保健分野】 6 健康な生活と疾病の予防	【体育分野】 1 陸上競技（走り幅跳び・高跳び） 2 球技（ネット型） 3 陸上競技（短距離走・リレー） 4 体育理論（運動やスポーツの多様性） 5 球技（ベースボール型） 6 球技（ゴール型） 【保健分野】 5 心身の機能の発達と心の健康 6 健康な生活と疾病の予防	【体育分野】 1 陸上競技（長距離走） 2 球技（ネット型） 3 球技（ゴール型） 【保健分野】 4 心身の機能の発達と心の健康

評価の観点と規準（各観点の割合は、全て達成率100%で統一する。）

	評価の観点（1学期より抜粋）	評価の方法・資料	評価方法の基準と「概ねB評価」等の設定（行動目標）
I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。 ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 健康と環境について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康と環境について理解を深めることができる。 	〔全教科共通〕 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・実技テスト ・授業観察	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに実技テストを行う。フォーム、記録から計算した個人目標の達成度などで評価する。 【各教科 独自の方法】 ※評価基準については、授業内で提示。 例：器械運動「マット運動」 自分が行うことができる技の完成度を高めて披露する。 A→技の成立条件を押さえた実施と綺麗さや安定感が高い。 B→技の成立条件を押さえた実施。 C→一部の技の成立条件を押さえた実施。
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。 	〔全教科共通〕 ・定期テスト 【各教科の方法・資料】 ・フォーム（学習カード）への入力内容と授業での取り組み状況 ・ノートなどへの課題の取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 学習カードやレポートで評価をする。 【各教科 独自の方法】 ※評価基準については、授業内で提示。 例：器械運動「マット運動」 その授業における、自分の課題に対してどのようなことを考えて取り組んだかをフォームにまとめる。 A→自分の課題に対して工夫して取り組み、その結果を生かせる内容の記述がある。 B→自分の課題に工夫して取り組んだ内容の記述がある。 C→自分の課題に工夫して取り組むことが読み取れない。

Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度

- 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。
- 器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を講えようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。
- 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。
- 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全をかくほすること。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身につけることができる。

- 【各教科の方法・資料】
- 授業に取り組む態度(目視・学習カード、レポート、保健ノート等の提出物)
 - 仲間への声かけの様子(目視・学習カード、レポート、保健ノート等の内容)
 - 単元に合わせた準備運動や自己の課題に対する取り組み態度(目視・記録の伸び率)

〔全教科共通〕

- 授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。

【各教科 独自の方法】

- A 試合の時に、勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。
- B 試合の時に、ルールを守っている。
- C 試合の時に、ルールを守ることができない。